



公明党横浜市会議員団政務調査会
旭代表 横浜市議員

和田 たくお

大きく変わる！二俣川駅南口。

1 再開発組合が設立

2011年(平成23年)1月の「タック通信」でお知らせした二俣川駅南口再開発ですが、平成23年の都市計画決定後、組合設立に向けた検討が進められてきました。

建築計画や資金計画の検討、鴨居上飯田線とのスケジュール調整がまとまったことで、権利者の法定同意が得られる見込みとなり、昨年12月28日に神奈川県により組合設立が認可され、事業計画や事業スケジュールが決定しました。

本年1月10日には市街地再開発組合の設立総会が行われ、事業が本格に開始されました。

2 魅力ある、“まち”を形成

私、和田たくおは、地元で構成している二俣川駅周辺再開発協議会の顧問として、二俣川駅南口の利便性の向上と安全性・省エネに配慮した街づくりを求めています。

総事業費は約353億円(横浜市の支出は約19億円)です。約1・9分の開発区域の真ん中に屋根付きのパスターミナルができ、その東側には南面にタクシー乗り場のある15階建ての商業業務棟ができます。

2階から4階までは横浜駅西口ダイヤモンド地下街と同規模の商店街となり、8階からの業務・サービス施設には地域ケアプラザが入ります。

開発区域西側には高さ99m、29階建て約380戸の高層住宅棟ができます。

3 平成30年3月完成を目指す

当初、相鉄線がJR線と直通となる平成27年春の完成を目指していましたが、再開発と同時施工の都市計画道路鴨居上飯田線の工事区域と再開発区域の両方の区域の地中に大口径の高圧ガス管が敷設されているため、その移設に約2年かかることから完成が3年先延ばしになりました。

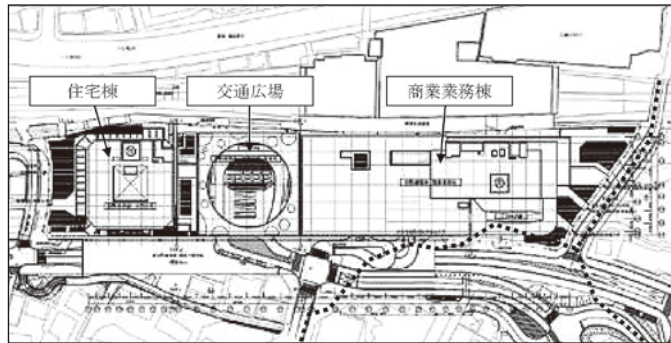
既存建物の解体工事が平成26年から始まり、約4年かけて建築工事・

設備工事が行われ、平成30年3月の竣工となります。

高圧ガス管の移設は、平成25年度に特殊管の製造を行い、その後新ガス管の埋設と旧ガス管の除去を平成26年秋までに行います。



配置図



- 事業の名称：二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業
- 施工者の名称：二俣川駅南口地区市街地再開発組合

.....は、ガス管の位置略図

東西断面図

